

議 事 要 旨

令 和 元 年 7 月 1 9 日

千葉県ナイトタイムエコノミー推進審議会

今、我が国は、人口減少や少子超高齢化の進展など、社会構造の大きな転換期に直面しております。

そのような中、「ナイトタイムエコノミー」については、来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も踏まえ、外国人観光客増加を契機とした、「新たな観光コンテンツ」としての「健全な夜間市場」創出の動きや、先進自治体における様々な取組みが始まっているところであると認識しており、千葉市において、民間事業者が主体となった、新たなナイトコンテンツの創出を行う動きについては、高く評価するものです。

当審議会においては、平成31年4月19日に開催した、第1回審議会にて、支援制度に係る募集要項や審査要領等、募集内容や審査基準について審議をいたしました。

審議内容を反映した募集要領等に基づき、令和元年5月15日から6月28日までの公募を行い、応募のあった6案件につきまして、市からの諮問に基づき、令和元年7月19日に第2回審議会を開催し、書面審査のほか、事業者からのプレゼンテーション及び質疑応答を行い、慎重に審査を行いました。

「ナイトタイムエコノミー」という施策が新たな取組みであることも勘案し、また千葉市への様々なナイトコンテンツを定着させ、民間事業者の意欲醸成を図っていく観点からも、基本的には、より多くの応募案件を支援していくべきであると判断しております。

具体的な応募案件の審査にあたっては、提案事業の実現性や今後の継続性を重点に、プロモーション、企画力、消費につながる仕組み、魅力的な景観の形成などについて評価をし、事業者からのプレゼンテーション、質疑応答などを踏まえ、審議会での討議の上、最終的な判断を行ったものです。

審査の結果、前述の考え方にに基づき、基本的には応募のあった事業については、一定の水準を満たしていると考えられることから、全件支援すべきであると考えますが、一部応募事業については、課題も見受けられたため、補助金の交付等にあたっては、それぞれ課題にあった条件を付すべきであるとも判断しております。

また、審査及び討議の際に出されました、委員からの意見や要望もあわせて記載しておりますので、各応募事業者がそのような意見や要望、前述の条件等を活かし、より良いナイトコンテンツを実施することにより、地域経済活性化や千葉市における夜の都市景観造りに資するものとなることを希望します。

1 応募事業の概要について

(単位：千円)

No	事業者名	事業名	事業費 (合計)	補助 申請額
1	千葉市土気商工会	昭和の森大花火大会 2019	9,100	4,400
2	(株)感動舎	千葉みなとフライイベント 「アロハ ホノちば」	1,000	499
3	(公財)ちば国際コン ベンションビューロー	“Hasuike” Evening Tour	1,696	500
4	(株)読売千葉広告社	ちば富士見屋台横丁	6,300	3,150
5	(株)塚原緑地研究所	CPT SKY DISCO	6,105	3,052
6	千葉商工会議所	YORU MACHI	36,514	10,000

2 審査結果について

(1) 事業別審査結果 (合計)

No	事業者名	事業名	点数 (600点満点)	得点率 (%)
1	千葉市土気商工会	昭和の森大花火大会 2019	368	61.3%
2	(株)感動舎	千葉みなとフライイベント 「アロハ ホノちば」	400	66.7%
3	(公財)ちば国際コン ベンションビューロー	“Hasuike” Evening Tour	462	77.0%
4	(株)読売千葉広告社	ちば富士見屋台横丁	468	78.0%
5	(株)塚原緑地研究所	CPT SKY DISCO	436	72.7%
6	千葉商工会議所	YORU MACHI	367	61.2%

(2) 評価項目別集計結果

評価項目	配点	昭和の森大花火 大会2019	千葉みなとフラ イベント 「アロハホノちば」	“Hasuike” Evening Tour
実現性	180	122	122	141
継続性	90	54	62	75
プロモーション	60	36	45	46
企画力	60	37	34	52
消費につながる 仕組み	60	30	32	50
魅力的な景観の 形成	60	39	41	36
提案全体	90	50	64	62
合計	600	368	400	462

評価項目	配点	ちば富士見屋台 横丁	CPT SKY DISCO	YORU MACHI
実現性	180	148	141	106
継続性	90	64	63	45
プロモーション	60	45	39	38
企画力	60	50	52	42
消費につながる 仕組み	60	53	36	35
魅力的な景観の 形成	60	49	43	48
提案全体	90	59	62	53
合計	600	468	436	367

3 審査結果（答申）について

審議の結果、応募案件については以下の通り支援することが適切であるものと判断します。

（単位：千円）

順位	事業名	点数	申請額	補助額 (答申)	条件等
1	ちば富士見屋台横丁	468	3,150	3,150	無
2	“Hasuike” Evening Tour	462	500	500	有 (※2)
3	CPT SKY DISCO	436	3,052	3,052	無
4	千葉みなとフライント 「アロハ ホノちば」	400	499	499	有 (※3)
5	昭和の森大花火大会 2019	368	4,400	2,200 (※1)	無
6	YORU MACHI	367	10,000	5,000 (※1)	有 (※4)
合計 (予算額 15,000千円)			21,601	14,401	

(※1、4)

ア 昭和の森大花火大会については、既存事業の拡充でもあり、実現性は高いこと、また、安全への配慮などの経費負担増などから近年開催が減っている花火大会を積極的に維持しようとする本花火大会のコンセプトには独自性があるものと評価します。

しかしながら、次年度以降、補助金がなかった場合における、提案事業規模での継続性について課題があるものと判断するほか、消費につながる仕組みについて、広域的な波及効果についても改善の余地があるため、補助額については、申請額の1/2とすることとし、次年度以降の改善を促すことが適切であると考えます。

イ YORU MACHI については、千葉中央公園を中心とした地区の活性化を図るべく、話題性が高いと見込まれる事業を、大規模に実施することについては評価に値します。また、今後の千葉都心地区における夜の都市景観を大きく変えていく可能性も秘めているものとも見込まれます。

しかしながら、新規事業であるが故に、収支計画や今後の事業展望に大きな懸念があるものとも判断しております。

従って、収支計画や今後の事業展開を再検討の上、再度当審議会に提出し、その内容が妥当であることが確認できることを条件に、支援を実施することとし、その支援規模につきましては、申請額の1/2として当該事業の進捗を慎重にチェックしていく

ことが適切であるものと考えます。

(※2)

“Hasuike” Evening Tour につきましては、アフターMICE の取組みの一環でもあり、幕張新都心を抱える千葉市にとって汎用性や地域経済活性化に資する事業であると考えますが、本提案の新たな「核」ともなるさや堂ホールにおけるレセプションについて、同ホールが工事中のため使用不可であることから、実施が不可能であり、代替施設を再度報告の上、当審議会の了承を得ることを支援の条件とすることが適切であるものと考えます。

(※3)

千葉みなとフライイベント「アロハ ホノちば」につきましては、既存事業としての実績もあり、実現性は高いものと見込まれること、ターゲットが明確であり、根強い人気があるコンテンツであるものと評価します。

しかしながら、提案事業につきましては、午後1時から午後8時までの開催であり、「ナイトタイム」としての時間が短いため、終了時刻の延長をしていただくと共に、現状では発表会的な内容に留まっているため、演出などを工夫していただき夜間イベントとしての魅力を高めるなど、本イベントが「夜間」を中心とした経済活性化の取り組みであることが伝わる工夫を実施していただいた上で、再度当審議会の了承を得ることを支援の条件とすることが適切であるものと考えます。

4 各応募案件の審査結果について

(1) 昭和の森大花火大会【千葉市土気商工会】 368点／600点（61.3%）

本件につきましては、採択対象となる得点を満たしており、支援をすることが適当であると考えますが、以下に記載の通り、次年度以降、補助金がなかった場合における、提案事業規模での継続性について課題がある他、プロモーションや消費につながる仕組みについて、広域的な波及効果について改善の余地があるため、補助額については、申請額の1/2とし、申請者からの事業報告等を通じて次年度以降の改善を促す必要があるものと判断します。

ア 実現性（122／180点 67.8%）

既存事業の拡充であり、実現性は高いこと、及び地元警察の協力が得られていることについて評価をしています。

また、実行委員会を組織しており、必要な担当を置いている他、メンバーは商工会会員であり、地域の事業者が主導していることから安定的な運営が見込まれるものと判断しています。

イ 継続性（54／90点 60.0%）

収入はほぼ協賛金に依存した形となっている等、収支状況については、不安定な点が見受けられます。

本補助金にて拡充した後の、次年度以降の事業の継続性については、優良特別席の拡充、グッズ販売等の企画を進めるなど、安定した収入を確保していくことが必要であるものと考えられます。

ウ プロモーション（36／60点 60.0%）

SNSでの発信などに力を入れていくとのことですが、地域外から集客できるプロモーションとしては、発信力に力強さを欠いているところがあり、更なる工夫が必要であるものと判断しています。

エ 企画力（37／60点 61.7%）

花火大会であり、コンテンツ全体としての新規性は無く、既存事業から拡充した部分についても、インパクトに乏しい部分はありますが、“森+芝生+花火+竹灯籠”のコンセプトはユニークであり、会場の特性を有効に活用しているものと考えられます。

オ 消費につながる仕組み（30／60点 50.0%）

会場において飲食店が60店舗程度出店するとのことですが、「地元のイベント」に留まっている、という感は否めず、周辺地域へ波及するような、更なる工夫が今後必要になるものと思われれます。

カ 魅力的な景観の形成（39／60点 65.0%）

花火大会というコンテンツであることから、魅力的な夜の景観形成という点においては、一定の効果はあるものと認められます。

キ 提案全体（50／90点 55.6%）

土気の花火大会のブランド価値を向上し、地域に継続的に集客していきたいと

いう熱意・意気込みを感じましたが、今回の補助実施後、翌年度以降での事業展開や収支の安定化についての説明については課題があったものと考えています。

(2) 「アロハ ホノちば」【榊感動舎】 400点/600点 (66.7%)

本件につきましては、事業実施実績もあり、実現性が高いものと見込まれること、またターゲットが明確であり、且つ「フラダンス」という幅広い世代から根強い人気があるコンテンツであると思われることから、支援をすることが適当であるものと判断します。

しかしながら、提案事業につきましては、午後1時から午後8時までの開催であり、「ナイトタイム」としての時間が短いため、終了時刻の延長や夜間イベントとしての演出など、本コンテンツが「夜間」を中心とした魅力ある事業である事が伝わる工夫を実施して頂き、再度当審議会の了承を得ることを支援の条件とすることが適切であると考えます。

ア 実現性 (122/180点 67.8%)

実質的に、これまで千葉中央公園で実施していた既存事業の「場所変更」であること、及び会場の使用確認ができており、近隣商業施設との連携により安全対策にも努める計画となっていることから、実現性に大きな問題はないものと考えます。

また、収支についても適切に把握していることについても評価します。

イ 継続性 (62/90点 68.8%)

事業規模対比、プロモーション費用の割合が大きいことから、今回の事業実施により、認知度が高まり、プロモーション費が削減出来ること等により、事業費補助がなくても次年度以降の継続実施については可能であるものと考えられます。しかしながら、キッチンカー等からの出店料の増額等、収入を増やす取り組みはさらに必要であるものとも考えています。

ウ プロモーション (45/60点 75.0%)

本コンテンツは幅広い世代から根強い人気を誇るコンテンツである中、ベイエフエム(ラジオ局)が後援をしており、告知面での協力が期待出来ること、また、子供のステージも組み込まれており、出演者の親類や友人などの参加も見込まれることなどを勘案し、事業規模に見合ったプロモーションであるものと認められます。

エ 企画力 (34/60点 56.7%)

海をバックにフラダンスを踊ることや、暗くなった後のかがり火の明かりで踊る企画については魅力的であるものと思われませんが、提案事業の実施時間帯が午後1時から8時までの開催となっており、参加者にとって、本コンテンツが「ナイトタイム」でのイベントであるという印象が薄いものとも考えられます。

従って、終了時間を延長するか、夜の時間帯で実施するイベントがメインである等を分かりやすくする演出などの工夫が必要であると考えます。

オ 消費につながる仕組み (32/60点 53.3%)

会場内で消費が完結するように見受けられるため、今後周辺事業者との連携など、

広がり意識した取組みを模索すべきであると考えます。

カ 魅力的な景観の形成 (41 / 60点 68.3%)

「海辺」という千葉市の特徴を活用しており、日常の風景とは異なる、海とフラダンス時のかがり火を上手に活用した独特の雰囲気醸し出されることが期待されることから、魅力的な景観の形成に資するものと判断します。

キ 提案全体 (64 / 90点 71.1%)

ハワイアンフラの魅力が伝わる説明であり、真摯な質疑応答を評価します。

(3) “Hasuike” Evening Tour 【(公財) ちば国際コンベンションビューロー】

462点 / 600点 (77.0%)

本件につきましては、過去の開催実績もあり、実現性も高く、またアフターMICEの取組みとしても重要な取組みであるものと思われまます。汎用性も高く、今後の手本ともなりうる事業であると高く評価しております。

しかしながら、本提案の新たな「核」ともなるさや堂ホールにおけるレセプションについて、同ホールが工事中のため使用不可であることから、実施が不可能であり、代替施設を再度報告の上、当審議会の了承を得ることを支援の条件とすることが適切であるものと考えます。

ア 実現性 (141 / 180点 78.3%)

過去開催実績があり、事業規模等も勘案し、実現性は高いものと認められます。

しかしながら、提案事業の中でレセプション会場としているさや堂ホールについて、改修工事中につき使用不可のため、代替場所を探す必要があります。

イ 継続性 (75 / 90点 83.3%)

幕張メッセ実施のイベントを対象とした、アフターMICE イベントであり、汎用性も高く、提案のあった「FOODEX」以外での実施も可能であり、継続性は高いものであると判断します。

今後、参加負担金の増額を図ると共に、ツアー内容での“プレミアム感の醸成”等ブラッシュアップを図っていく他、ツアーのパッケージ化等により安定した参加者が見込まれる仕組みづくりを行っていく必要があると考えます。

ウ プロモーション (46 / 60点 76.7%)

ターゲットが明確であり、かつ、幕張メッセの集客力を活用した事業であることも勘案し、確実な集客が見込まれます。

エ 企画力 (52 / 90点 57.8%)

本提案は、幕張メッセが立地する都市として、必要な企画であると認められますが、FOODEX以外での実施を検討する他、参加者がより多く見込まれる仕組みづくりを行っていく必要があるものと考えます。

オ 消費につながる仕組み (50 / 60点 83.3%)

一般的に、MICE参加者の発信力は強い方が多く、将来的にツアー参加者の口コミによる波及効果に期待できるなど、将来的な消費につながることを期待できます。

カ 魅力的な景観の形成 (36 / 60点 60.0%)

さや堂ホールの利用という、千葉市の特徴的な地域、施設を舞台とした提案であることを評価しますが、事前のスケジュール確認の不備などについては厳しい評価をします。

キ 提案全体 (62 / 90点 68.9%)

質疑応答やプレゼンテーションでの対応については適切に対応しているものと認められ、事業内容について理解をすることが出来たものと判断します。

(4) ちば富士見屋台横丁【株読売千葉広告社】468点 / 600点 (78.0%)

本提案につきましては、「屋台」というコンテンツは非常に分かりやすく、既存事業の拡充でもあり、実現性が高いと判断出来ること、また既に高い集客実績があること等も勘案すると、支援することが適当であるものと判断します。

ア 実現性 (148 / 180点 82.2%)

既存事業の拡充でもあり、実現性は高いものと判断します。

イ 継続性 (64 / 90点 71.1%)

収入が出店料のみであり、グッズ販売等の企画により、安定した収入源を確保していくことは必要であるとは思いますが、今回の補助金を活用し、屋台を製作することによって、来年度ハード面の費用削減が可能となる点については評価に値するものと考えております。今後の常設化に向けた取り組みに期待するところです。

ウ プロモーション (45 / 60点 75.0%)

提案のあった、地域の飲食店ででのポスター掲載やちらし配布は、「屋台」というコンテンツを鑑みると、効果は高いものと判断します。

エ 企画力 (50 / 60点 83.3%)

「屋台」はわかりやすいナイトコンテンツであり、集客及び消費が見込まれる千葉駅から飲食店が多い千葉中央公園に向かう大通りを活用しており、飲食店街への玄関の役割を果たすことが期待できます。ただし、入りやすい雰囲気の醸成にさらに努めるなど、引き続き工夫をこらしていただきたいと考えます。

オ 消費につながる仕組み (53 / 60点 88.3%)

直接消費がある他、周辺飲食店への送客が見込まれるなど、消費の波及が期待できます。

カ 魅力的な景観の形成 (49 / 60点 81.7%)

屋台製作に建築家などが関わることで屋台による魅力的な景観が人を惹きつけるのみならず、提案のあった千葉駅からの提灯、屋台横丁前の門の設置によって、印象的な景観を形成できることが期待できるものと判断します。

キ 提案全体 (59 / 90点 65.6%)

事業説明について、水準以上であった他、千葉市に対する愛着や、事業に対す

る熱意が感じられる説明であり、好感が持てるものであったと判断します。

(5) CPT SKY DISCO【株塚原緑地研究所】 436点／600点（72.7%）

本提案につきましては、千葉ポートタワーという、特徴的な公共施設を活用した事業であり、まさに「ここでしか出来ない魅力的なコンテンツ」であるといえる点につきまして、高く評価をします。また、事業の実現性についても施設の指定管理者による提案である等、運営体制が明確であり、収支についても将来を見据えた現実的なものであり、今後の継続が見込まれるものであることから、支援をすることが適当であるものと判断します。

ア 実現性（141／180点 78.3%）

施設の指定管理者が主催している他、類似の事業実績がある事業者との共同での事業実施のスキームとしており、実現性は高いものと判断します。

また、提案された事業内容（ディスコ・バー）は、来場者にとって「ナイトタイムエコノミー」という事業内容から連想しやすいものであると思われ、理解が得られやすい他、運営体制も明確であるものと評価します。

イ 継続性（63／90点 70.0%）

事業収入でソフト面の事業費をカバーしているなど、堅実な収支計画であるものと認められます。更には今回の事業実施により認知度が高まれば、プロモーション費の削減も可能であると見込まれ、継続性は高いものと考えられます。

今後、ターゲット層を変え、毎回テーマを変えることで来場者を飽きさせない仕組み作りを行っていくことを期待しています。

ウ プロモーション（39／60点 65.0%）

共同事業者が持つ、地域の音楽シーンとのつながりや、同種イベントを嗜好するターゲット層に直接訴えかけるネットワークを活かしたプロモーションであり、一定の効果があるものと考えます。

エ 企画力（52／60点 86.7%）

千葉ポートタワーという千葉市の特徴的な施設を活用した事業であり、展望フロアでのディスコはここでしかできない魅力的なものであることから、本提案の企画を高く評価します。

オ 消費につながる仕組み（36／60点 60.0%）

直接消費は十分に見込まれるものの、今後周辺飲食店との連携を模索するなど、周辺への波及を意識した企画へ発展していくことを期待しています。

カ 魅力的な景観の形成（43／60点 71.7%）

千葉ポートタワー展望フロアのディスコ化は非日常感を十分に演出している他、これまでになかった公共施設の利用を行うものであり、新たな夜の景観形成に資するものであると評価します。

キ 提案全体（62／90点 68.9%）

プレゼンテーションにつきましては、わかりやすく、事業内容は十分に理解す

ることが出来た他、質疑応答も的確であったものと評価します。

(6) YORU MACHI【千葉商工会議所】 367点／600点 (61.2%)

本提案については、千葉中央公園を中心とした地区の活性化を図るべく、話題性が高いと見込まれる事業を、大規模に実施することについては評価に値します。また、今後の千葉都心地区における夜の都市景観を大きく変えていく可能性も秘めているものとも見込まれます。

しかしながら、新規事業であるが故に、収支計画や今後の事業展望に大きな懸念があるものとも判断しています。

従って、収支計画や今後の事業展開を再検討の上、再度当審議会に提出し、その内容が妥当であることが確認できることを条件に、支援を実施することし、その支援規模につきましては、申請額の1/2として当該事業の進捗を慎重にチェックしていくことが適切であるものと考えます。

ア 実現性 (106／180点 58.9%)

メインコンテンツであるスケートリンクについては、別地域で実績があり、かつ、中央公園の使用が可能であること、及び提案時事業者の規模等を勘案すると、実現は可能であるとは見込まれますが、収支計画を含めた、全体の事業計画の中で不明瞭な点もあり、再度内容の検証が必要であると考えます。

イ 継続性 (45／90点 50.0%)

提案された開催期間は約3か月と最も長く、千葉中央公園という公共の場を長期にわたり占有することについて、また、収支計画が不明瞭でもあることから、今後の事業継続には不安な点があるものとも見込まれます。

大規模な事業でもあり、実施にあたっては、収支計画を再度策定の上、検証していくことが必要不可欠であるものとも判断します。

ウ プロモーション (38／90点 42.2%)

千葉中央公園に屋外最大級のスケートリンクを設置することそのものが、一定のプロモーションにつながると思われませんが、収支計画の中で、より具体的なプロモーションの方策を示す必要があるものとも考えます。

エ 企画力 (42／60点 70.0%)

千葉中央公園でのスケートリンクを中心に、パレードやイルミネーションラウンジ、ストリートアートレストラン、提灯づくり体験、ナイトツアー等、多種多様な事業を企画していることについて、一定の評価をしますが、今後事業全体の統一感やメインコンテンツの打ち出し方等について、収支計画の検証の中で再考することが必要であると判断します。

オ 消費につながる仕組み (35／60点 58.3%)

スケートリンク、ストリートアートレストラン、ナイトツアー等での直接消費は一定程度見込まれると思われませんが、各事業に参加した人を周辺飲食店に送客する仕組みを構築していく必要があるものとも考えられます。

カ 魅力的な景観の形成（48／60点 80.0%）

メインコンテンツとして、約3か月間にわたり千葉中央公園に屋外最大級のスケートリンクが設置されることは、夜の都市景観を大きく変えるものであると評価します。

キ 提案全体（53／90点 58.9%）

プレゼンテーションにつきましては、事業概要の説明が一定水準でなされていたものと判断しますが、質疑応答においては委員からの質問に対し、不明瞭な回答が目立っていたものと考えています。